

平成31年度特別展のご案内

※展覧会名・内容・会期は変更になる場合がございます。

デザインあ展

4月13日(土)～6月9日(日)

こどもたちのデザインの思考をはくむことをねらいにNHK Eテレで放送されている番組「デザインあ」。この番組のコンセプトを、実際の体験に発展させた展覧会です。身のまわりに意識を向け(みる)、どのような問題があるかを探り出し(考える)、よりよい状況を生み出す(つくる)という一連の思考力と感性、すなわち「デザインマインド」を、多彩な作品を通して体験することができます。



黄昏の絵画たち

近代絵画に描かれた夕日・夕景(仮称)

6月22日(土)～8月25日(日)

本展は、「夕日・夕景」のモチーフに着目し、東西両洋の画家たちの表現を紹介するものです。独特の光の移ろいや、情緒があるこの時刻の表情は、多くの画家たちの心を捉え続けてきました。19世紀から20世紀にかけての西洋と、その影響を受けながら独自の風景表現を生み出そうとした近代日本を中心に、多様な表現をご紹介します。



ジャン＝バティスト＝カミユー・コロエ(舟渡し、ドゥエ近郊)島根県立美術館蔵

萩尾望都 SF 原画展(仮称)

9月7日(土)～11月4日(月・祝)

「少女漫画の神様」とも称され、「ポーの一族」「トーマの心臓」や、SF作品である『11人いる』『スター・レッド』『バルバラ異界』といった傑作を生んだ漫画家・萩尾望都(はぎおもと)。本展では萩尾望都のデビュー50周年を記念し、SF作品から選出したカラーイラスト原画や漫画原稿を多数展示します。山梨県立美術館としては初の漫画展となり、漫画を芸術の一分野として捉え直す新たな試みともなります。



(C)萩尾望都/秋田書店
(C)萩尾望都/小学館

現代日本の工芸

国際交流基金寄託作品と山梨の工芸(仮称)

11月16日(土)～1月13日(月・祝)

国際交流基金所蔵の工芸作品は、10年近くかけて世界各国で展示された後、2016年度に当館へ寄託となりました。本展では人間国宝6人を含む、現代日本を代表する工芸家の作品60点余りを全て展示します。またそれに合わせて様々な技法で制作する山梨ゆかりの工芸家の作品もご紹介します。現代日本の工芸を山梨の土壌で育まれたものとともにご堪能いただける展覧会です。



松田百合子(注器、デミタス碗皿)
1992年、磁器、国際交流基金蔵

アクセス

○中央自動車道甲府昭和インターチェンジより

- ・料金所を昇仙峡湯村方面へ出て200m先を左折、西条北交差点左折、アルプス通りを約2km直進、貫川交番前交差点を左折、西条52号を約1km左側。

○JR中央本線甲府駅より

- ・甲府駅バスターミナル(南口)より御勅使・竜王駅經由敷島営業所・大草經由葦崎駅・貫川団地各行き
のバスで約15分「山梨県立美術館」下車。(料金片道280円)
※甲府駅からのバスの時刻表は(山梨交通HP)よりお調べいただけます。
- ・タクシーで約15分。(料金1,700円程度)

○昇仙峡より

- ・敷島営業所行バスで「山梨県立美術館」下車。



種をまく 世界がひろく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

〒400-0065 甲府市貫川1-4-27
Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324
<http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>
<https://www.facebook.com/yamanashi.artmuseum> (facebook)

